

科学研究費補助金（若手研究（S））研究進捗評価

課題番号	19679003	研究期間	平成19年度～平成23年度
研究課題名	自然免疫系の活性制御機構の解析	研究代表者 (所属・職)	竹田 潔（大阪大学・大学院医学系研究科・教授）

【平成22年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、自然免疫応答誘導における TLR の機能解析での分子・細胞・個体における実績を基盤に、(1) 細胞内寄生病原体の感染による自然免疫系と獲得免疫系の活性化誘導機構、(2) TLR 依存性の遺伝子発現機構の解明、(3) 炎症性疾患の制御機構の解析を通じて、難治性免疫疾患・炎症性疾患の治療法の確立のための基盤提供を目的としている。独自の切り口から、それぞれの目的にしたがった研究を展開・発展させて着実に成果を挙げつつある。当初予定された結核菌での実験も着手可能となっており、研究グループの再編も完了して、更なる成果が期待される。</p>	

【平成24年度 検証結果】

検証結果	概ね研究進捗評価どおりの研究成果が達成されたが、一部の目的が達成できなかった。
A-	自然免疫系の活性化制御機構について、細胞内寄生性病原体である原虫感染のモデルを用いて詳細な検討を行うことにより、新規の誘導機構や抑制機構を明らかにするなど、優れた成果を挙げている。また、炎症性腸疾患をモデルとした解析もある程度の成果が挙げられている。一方で、当初期待された結核菌感染モデルによる研究遂行に関する報告がないのが残念である。今後はこの部分にさらに注力して、研究を継続していくことが望まれる。